



“10年前の笑顔”咲いた

10年前に撮影された阪神

大震災の被災地の子供の笑顔が印刷された傘を広げるイベントが9日、神戸市中央区の神戸ハーバーランドなどで行われた。当時モデルになった子供たちも集まり、笑顔の傘約50本を開いて行進。間もなく震災から16年を迎える街に、再び笑



10年前の自分の笑顔がプリントされた傘を広げ行進する子供たち―9日午前、神戸市中央区(志儀駒貴撮影)

顔の花を咲かせた。

世界の被災地などで子供の笑顔を印刷した傘を広げ、希望と平和を訴えるイベント「メリーアンブレラプロジェクト」の一環。平成13年に神戸市民5000人の笑顔の写真展を開いた東京在住のアートディレクター、水谷孝次さん(59)が企画した。

合図とともに約50人が傘を開くと、一斉に笑顔が広がり、観客から歓声が。当時4歳で「パパ大好き」のメッセージを添えた神戸市兵庫区の中学2年生、近藤穂花さん(14)は自分の笑顔の傘をはにかみながら広げ、「将来は看護師になりたい」と夢を語った。

子供たちと再会した水谷さんは「被災地で子供の笑顔に希望を感じたことは今も忘れられない」と話していた。